



NISHINOSHIMA
OKI ISLANDS
SHIMANE
移住ブック

隠岐諸島 西ノ島に暮らす





島前カルデラ（摩天崖）

西ノ島

島根根半島約65km北に位置する隠岐諸島は大小180余りの島々から成り立つ群島型離島です。この中で人が住む島は西ノ島、中ノ島、知夫里島、島後（とうご）の4つで、島後に対して西ノ島、中ノ島、知夫里島の3つをあわせて、島前（どうぜん）と呼びます。1つの島で1つの町を形成しています。

人の幸せは、 大きさに決まらない。

西ノ島は小さい。

人口は2700人ほど、店も選べるほど多くはない。

学校も1つだけ…。

だからといって、人々の幸せが小さいわけではない。

だって、ここには息を飲むほど美しい自然が広がっているし、

何より人々の営みが美しい。体調を崩せば、ご近所さんが

心配してくれるし、たまに新鮮な魚や野菜を分けてくれる。

都会で忘れていた暮らしの大切なことがたくさんある。

島の大きさと幸せの大きさは、必ずしも比例しない。





GENERAL INFORMATION

人口

2,652人(男1,333人／女1,319人)

15歳以下人口:258人

65歳以上人口:1,279人(高齢化率:48.2%)

(令和4年2月末現在)

面積

56.04km²



西ノ島町役場



概要

沿革

西ノ島町は、昭和32年2月に浦郷町と黒木村が合併し誕生しました。美しい景観や恵まれた海洋資源を活用し、漁業、畜産、観光を基幹産業としたまちづくりを進めています。史跡も数多く残されており、西ノ島には後醍醐天皇行在所とされている黒木御所をはじめ海上交通安全の神として信仰も厚い焼火神社があり、昭和38年には大山隠岐国立公園に指定され、平成29年には隠岐ユネスコ世界ジオパークに認定されました。

気候

対馬暖流と海洋性の気候の関係で、日間気温差は比較的少なく、年間平均気温は16.2度と比較的温暖です。冬期の12月から2月の平均気温は6.5度で、北西の季節風が強く時化る日も多く、島と本土とをつなぐフェリーが欠航することもあります。雪が積もることはひと冬に2～3回(15cm程度)で、だいたいは数日のうちには溶けてしまいます。

産業

西ノ島の産業は、漁業、畜産、観光です。中でも漁業については、近海に好漁場を有し、一番の産業となっています。畜産については、広大な公共牧場を活用した低コスト・省労働による肉用牛の繁殖経営が行われています。観光は、昭和48年の離島ブームには入込客数165,000人と西ノ島の基幹産業となりました。近年、日本人観光客数は減少傾向にある一方、外国人観光客は、増加傾向となっています。

食文化

暖流と寒流がぶつかる近海でとれた魚介類を使った食文化を楽しめ、西ノ島は日本で初めて岩ガキの養殖に成功した島でもあります。また、それぞれの家庭で作られる「こじょうゆ味噌」を使った焼きおにぎりや海産物などの地元食材を使った西ノ島郷土料理のレシピ集や動画制作、食に携わる人材確保や育成など、地産地消の推進にも取り組み、平成30年11月より「につぼんA級(永久)グルメのまち連合」にも参画しています。

行事

西ノ島のお祭りの中で最も大きな「由良比女神社例大祭」や、送り盆行事として行われる「精霊船(シャール船)流し」、全国的に見ても屈指の芸能と評される「美田八幡宮の田楽」や「日吉神社の庭の舞」など様々な伝統行事が行われます。また、ウォーキング大会やマラソン大会、地元特産品を活用した食のイベントなども一年を通して行われます。



西ノ島町観光協会



Wondershare
PDFelement



移住までの流れ

STEP1

知る

仕事や住宅、生活など島での暮らしに関連した情報を収集しましょう。

STEP2

確かめる

移住を検討するにあたって実際に島へ滞在し、暮らしなど体験することをおすすめします。島を体験したい、詳細な情報を知りたい場合など、お問合せください。また、職業などによっては体験・就業する場合の補助金などもありますので、西ノ島町へお問合せください。



お試し体験施設

STEP3

相談する

移住は人生の中でとても大事な決断をすることになります。ご家族の方とよく相談しましょう。

STEP4

決める

西ノ島のことをよく知り、生活していけると判断したうえで移住を決断、具体化していきましょう。

就業前後の支援一覧

漁業	・漁業体験に係る交通費・滞在費の助成 ・まき網就業者の引越し費用などの助成 ・自営で漁業者を行う際の自立支援
農業	・畜産業を始めるにあたり初期投資の負担軽減を目的とした支援
医療福祉	・保健医療福祉(保育士、保健師、介護福祉士、介護支援専門員、看護師、作業療法士、理学療法士)の資格を有する者などが町内での職場体験などを実施するために必要な旅費を助成 ・西ノ島にある福祉事業所において、介護福祉士、介護支援専門員、看護師、作業療法士、理学療法士及び保育士として従事(正規職員)する者に対し、就業一時金を給付、及び旅費及び引越費用の一部支援
地域おこし協力隊	・隊員が町内で起業又は事業承継に要する経費に対し、補助金を交付
その他	・西ノ島に新規就業者として移住しようとする者の移住経費(引越費用、車両運送費用、家電購入取付費用)を支援 <ふるさと島根定住財団> 島根にUターン・Iターンし、農業・林業・漁業・伝統工芸・介護分野の産業を体験する場合に、滞在に要する経費の一部を助成。 Info. 公益財団法人ふるさと島根定住財団松江事務局 TEL: 0852-28-0690 MAIL: uiturn@teiju.or.jp





暮らし

公共施設、医療・福祉機関、商店など生活を支える基盤はある程度整っています。小さな町なので、暮らしに必要なものがコンパクトにまとまっており、快適に生活できる環境です。

住まいについて

西ノ島にはごく小規模の借家以外に賃貸物件はなく、住まいは町営住宅や空き家となっています。現在、町営住宅が235戸、その他には、世帯向けの交流施設（16戸）、単身向けの体験滞在施設（26戸）、空き家を活用した定住促進住宅（30戸）をご利用頂いています。戸数には限りがありますが、移住される方が住まい探しに困らないようサポート致します。

ネット環境：光回線 ガス：プロパンガス（LPガス）
区費（居住地区への運営等負担金）：あり



参考：第2由良住宅

交通

本土（七類港または境港）と隠岐4島間は、高速船1隻、フェリー3隻により、結ばれています。島前3島は、内航船2隻での移動となります。西ノ島には、路線バスやタクシーも運行しております。

- タクシー：2
- レンタカー：2
- 自動車修理：2
- ガソリンスタンド：3（令和3年10月末現在）

買い物

スーパーマーケット、食料品店、鮮魚店、精肉店、酒店、家電店、衣料店、お土産屋などがあり、生活に必要なものは島内で購入が可能です。大型家具は本土で購入する必要があります。

- スーパーマーケット：1
- コンビニエンスストア：1
- 食料品商店：7
- 鮮魚店：2
- 精肉店：1
- 家電店：1
- 飲食店：27（令和3年10月末現在）

金融機関

山陰合同銀行、漁業協同組合JFしまね、JAしまね 島根県農業協同組合、郵便局があります。ATMも数か所設置されていますが利用できる時間は各金融機関で異なります。

病院

隠岐広域連合立隠岐島前病院を拠点に、浦郷診療所、へき地三度出張診療所、民間の歯科医院があります。

- 内科・外科・小児科：月～金曜日
- 耳鼻科：月2回不定期
- 整形外科：毎月第4金曜日
- 眼科：毎週金曜日
- 産婦人科：毎月第2・4木曜日
- 精神科：隔週月曜日・水曜日1回（不定期）



交流施設

子どもから高齢者まで幅広く利用できる各施設があります。家族や友人との時間、スポーツでの交流や健康増進、子どもや親同士の交流など、様々な場面で地域住民の方々に活用されています。

総合公園

- 多目的広場（野球場）
- テニスコート4面
- グラウンドゴルフ場
- 花見広場
- 町民体育館
 - バレーコート2面
 - バスケットコート2面
 - バドミントンコート4面が利用可能
- ミーティングルーム

Info. 午前 9 時～午後 10 時
TEL. 08514-6-0066

西ノ島町コミュニティ図書館

- メインライブラリー ● 公開書庫
- 学習・交流室 ● 書斎 ● キッズスペース
- 料理とモノづく리스ペース



Info. 午前10時～午後7時
休館日 水曜日
TEL. 08514-2-2422



町民プール

- 温水プール (25m×6コース)
- 子供用プール ● サウナ ● 卓球台
- トレーニングルーム



Info. 午後1時30分～午後8時30分(水～土曜日)
午前9時～午後5時(日曜日)
TEL. 08514-6-0066

美田コミュニティセンター

第2・3・4木曜日に子育てサロンがあり、子ども同士や子育て世代の交流の場となっています。月に2回、子ども用品のリユース事業(全品無料:約5,000点)が開催されます。

- 交流スペース ● 研修・会議室
- 図書室

利用料金:450円/1時間

- 体育館

利用料金:1,100円/1日、500円/半日

Info. 西ノ島町社会福祉協議会
TEL. 08514-6-1470





子育て・教育

一人でも多くの「育てたい」を育むため、子育て世帯への支援充実、保育体制の充実、地域による子育て支援体制の構築に取り組んでいます。

保育園

西ノ島には「シオン保育園」(民間)と「みた保育園」(公立)の2つの保育園があります。共働きなどで昼間の保育ができない家庭の児童が対象で、一時預かりもあります。



シオン保育園



みた保育園

小学校・中学校

令和3年度より西ノ島小学校と西ノ島中学校は、小中一貫教育を行っています。「和醸良酒…小中全ての教職員で全ての子どもたちを見て語り関わり育てる」を教育の基本コンセプトとして、小中の壁を取り払い、小中教職員が一つになり、義務教育9年間を通して子どもたちを大きく成長させます。

学習塾

西ノ島の中学生を対象に、自立学習の推進に向けた目標の立て方、学習の仕方、ふりかえりの指導、個に応じた指導を行う「西ノ島学習塾」があります。

高等学校

西ノ島に高校はありませんが、海士町に島根県立隠岐島前高等学校があり、西ノ島からの通学も可能です。隠岐島前高等学校は地域創生の一翼を担う高校です。「グローバル人材」の育成を目指して、地域でも世界でも学べる多様な機会を提供しています。その他、隠岐の島町や本土の高校などに下宿などして通うのが一般的です。

主な支援制度

出産準備金 妊婦一人につき出産に係る交通費など150,000円を支給。
妊婦など宿泊施設利用助成 宿泊費の一部(1人1泊2,000円又は3,000円)を助成。
不妊治療費および治療に係る通院交通費を助成
中学生までの子どもの医療費の無料化
町外通院にかかる交通費などの助成 中学校修了前までの児童及び必要な付添者を対象に町外の医療機関で治療が必要な方へ通院にかかる交通費宿泊費の一部を助成。
病児・病後児保育 病気または病気の回復期などであり、集団保育の困難な児童で生後6ヶ月～小学校3年までの児童を対象に島前病院に付設された専用スペースにおいて一時的に預かります。
保育料の軽減 ・2歳児～0歳児クラスで、生計を一にする児童が2人以上いる世帯の第2子以降の園児を対象に保育料の1/2～全額(階層により異なる)を軽減。 ・転入してから1年間保育料を1/2軽減。



仕事

漁業、畜産業、観光業を中心に、医療や福祉、保育分野なども幅広く人材を募集しています。自分の能力を活かし、このような分野の職種で働きたいなど、お気軽にご相談ください。

漁業関係

西ノ島ではまき網漁が県内でも有数の漁獲高となっています。過酷なイメージはありますが、最近では設備の充実により作業効率の向上も図られています。平成7年度から町役場、JF、まき網船団の3法人で従事者の確保対策に取り組み、取り組み開始から多くのIターン者が漁業に従事し、漁業振興に貢献しています。その他に岩ガキ養殖業、一本釣り、刺し網、採貝など後継者の確保のため、各種支援制度を設けています。

Info. JFしまね浦郷支所
TEL. 08514-6-0201



朝の浦郷漁港

観光関係

西ノ島は、国賀海岸に代表される景勝地を有しており、大山隠岐国立公園やユネスコ隠岐世界ジオパークに認定されるなど、雄大な自然環境を背景とした観光業が発展してきました。近年では、担い手の高齢化などの影響で、観光関連業や宿泊業に従事するスタッフが不足しており、各事業所でスタッフを募集している場合があります。

Info. 西ノ島町役場観光定住課
TEL. 08514-6-1257

畜産関係

西ノ島の畜産は主に放牧（公共牧野を活用した飼養）であり、本土に比べるとコストも低く抑えられています。新規就農者の方には国や県の助成に加えて町独自の支援制度も用意しています。初心者でも地元の畜産農家に体験研修することも可能です。

Info. 西ノ島町役場産業振興課
TEL. 08514-6-1220



年3回行われる牛市

人材募集している職種

- ・巻き網漁業乗組員 ・観光関係職員
- ・医療職員 ・福祉施設職員
- ・施設清掃作業員 ・土木建設業
- ・宿泊施設スタッフ ・一般的な事務職
- ・商店スタッフ ・飲食店スタッフ
- ・マルチワーカー（派遣スタッフ）

役立つ資格など

- ・船舶免許 ・工事車両の免許
- ・医療福祉の資格 ・英語のできる方
- ・刈払機などの取扱技術



西ノ島求人サイト



医療関係

島前3町村には、各島それぞれの診療所があります。島前病院は、3町村唯一の有床（44床）医療機関として中核的な役割を担っています。必要な時には本土の高次医療機関と連携しながら治療にあたります。他職種（保健・医療・福祉）で連携して意見を出し合い、患者様の幸せを考えた医療を大切にしています。全国各地から、一般事務・看護師・作業療法士・理学療法士・管理栄養士・調理員など様々な人材を広く受け入れています。求人情報につきまして、直接、島前病院までお問合せください。

Info. 隠岐広域連合立隠岐島前病院
TEL 08514-7-8211



福祉・保育関係

西ノ島には介護事業所3法人、保育園が2つあります。介護や保育に従事する方に対して、就労一時金や引っ越し費用の助成などを行っています。

Info. 西ノ島町役場健康福祉課
TEL 08514-6-0104



島前病院



養護老人ホームみゆき荘

テレワーク

光ファイバー網が整備されていますので、在宅ワークが十分可能であり、町が運用するコワーキングスペースも準備しています。また、町外から町内に事業所を設置し、かつ事業開始と共に正規雇用が図られる企業などに対し、支援を行っています。（令和4年3月末現在）

Info. 西ノ島町役場産業振興課
TEL. 08514-6-1220

起業

西ノ島の地域の活性化に資する事業や雇用が見込まれる事業などについて、起業をされる方への助成制度があります。離島で新たなビジネスにチャレンジしたい方などまずはお問合せください。

Info. 西ノ島町役場観光定住課
TEL. 08514-6-1257

地域おこし協力隊

西ノ島の地域活力の維持強化につなげるため、地域活動に取り組む「地域おこし協力隊員」を募集しています。現在、9名の隊員が活動しており、活動任期後の7名の隊員出身者が定住しています。（令和4年3月末現在）

Info. 西ノ島町役場産業振興課
TEL. 08514-6-1220



大人の島留学

島前3町村では、全国の若者を対象に、1年もしくは3か月のお試し移住制度を行っています。この制度は、まちづくりやローカルキャリア、離島などに関心を持った国内外の若者たちとを繋ぐためのプロジェクトとして立ち上がりました。島という環境で挑戦してみたい若者を支援することで、人財が島に還流し続け、それにより島の魅力ある人や活力ある仕事の創出に繋がることを目指しています。

Info. 島前ふるさと魅力化財団
地域事業部
TEL. 08514-2-0310



PEOPLE #1

自然豊かな場所で暮らしたい。

移住前は都内の生活雑貨店で10年あまり販売業をしていました。副店長として接客や売上や在庫管理、目の前の仕事をこなすのに一生懸命な毎日でしたが、ふと「自分の中に残るものって何だろう…」と思いはじめました。売上目標を達成しても充実感が感じられなくなり、会社のために頑張る毎日ではなく、自分の本当にやりたいことを仕事にし、生活を送りたいと思う気持ちが強くなってきました。自然がある環境で、好きだった「モノ作り」を生業にしたいという想いが高まり、WEBで情報収集をしました。「地域おこし協力隊として窯元の後継者募集」という広告を見つけ、働きながら技術を学べるこんなチャンスはないと思いすぐに応募しました。面接で島に訪れた時、本土から本当に遠くてびっくりしました。

初めは夜寝れなかった…。

生活に慣れるまで半年位はかかりました。初めの頃は夜が静か過ぎて眠れませんでした。自然環境には比較的すぐに慣れましたが、地域や人との距離が近いので、外出時は緊張していました。私は相手を知らなくても、相手は私を知っていると、町中では失礼の無いようにと気を張っていました。島に来てからすぐは人の顔と名前を覚えることに必死でした。ありがたいことに私にはともに活動する同期の協力隊がいて、ご飯を食べたり、感じていることを話し合ったりとお互いに発散しながら島暮らしになじん

透かしを削除する

Wondershare
PDFelement

展示会に向けて器を製作中

何事にもトライ!

私にとっての島のお気に入りフードは、おおぎやさんの大判焼です。日々のささやかなご褒美で小さな幸せを感じます。島は飲食店の数が少ないので、外食する機会が多い方にはづらいかもしれませんが。私の場合、近所の方が季節の収穫物や魚などをお裾分けしてくれたり、採り方や調理法まで教えてくれます。地域の方と繋がりが持て、郷土料理や方言にも詳しくなりました。柔軟性があり何でもトライして楽しめる人は、島暮らしに向いていると感じます。

皆がワクワクできる空間を。

3年間の地域おこし協力隊の活動を終え、同期でともに活動していた仲間と2人で「焼火窯」の事業を承継し、新たなステップに進んでいる最中です。目先の目標として、島の素材を活かした陶芸や染め物、貝細工などの「モノ作り」を通じて人が集まり、誰もが島をエンジョイ出来るような空間を作りたいと考えています。島には良いところも、そうでないところもたくさんあります。自分らしく、本当にやりたかったことを仕事として続け、豊かな生活が送れるよう励んでいます。



おおぎやさんの前で

PEOPLE #2

祖母の故郷。

40歳を目前にした頃、今の仕事は一生できるものではないと思い、漠然と独立して何かやりたいと考えるようになりました。そんな時、祖母の故郷で何度も訪れた西ノ島での生活を思い出しました。仕事に関しては、以前から畜産業に興味があり、大阪で開催された就農フェスタへ行きました。西ノ島の畜産担当者を紹介してもらい、移住と畜産農家への転職について話を聞き、徐々に心が固まっていきましたが、正直不安もありました。移住したら、長く住んでいる神戸とは環境も生活も大きく変化してしまうけど、離れていても友人をなくすわけではなし、手放すものや失うものはほとんどないということに気が、島へ渡ろうと決心しました。

今は自炊で家飲み。

移住前は、ほぼ毎日外食で飲みに出ていましたが、今は自炊で家飲みに変わりました。たまに釣った魚を捌いて料理し、酒を飲む、最高の時間です。島での暮らしには比較的すぐに慣れ、海の綺麗さや自然ととても距離が近いところが気に入っています。マイナス面をあげるなら、季節によっては湿度が多くカビが気になったりムカデが出ることです。



最初に出来た友人は趣味のバイクがきっかけでした。バイク乗りを見かけたときにこちらから積極的に声を掛け、たくさんの友人ができました。居住している珍崎地区では、自分から挨拶するよう心掛けました。自分から頼れば親身になってくれる優しい方が多いです。今では帰ると玄関に野菜が置いてあったり、通りすがりに食べ物をもらうこともあります。初めは驚きましたが、地域の人の温かさに感謝しています。自分から話しかけて行動でき人付き合いが好きで、人、周りへの感謝ができる人は島暮らしに向いていると思います。



愛車のKawasaki Z2 (750RS)

畜産農家としてのビジョン。

今は、畜産農家の元で和牛繁殖について勉強中ですが、今後は、独立して人を雇い「畜産農家の経営」を目指しています。今年、新しい牛舎を建設予定で、畜産業の危険や汚いなどのイメージをなくせるよう「牛も働き手もストレスのない快適な牛舎」をテーマに取り組んでいます。行政や関係機関のサポートを受けながら、自分のしたいことを見据え、自ら発信し、動くよう心掛けていきます。

PEOPLE #3

島に嫁いできました。

結婚を機に西ノ島へ移住しました。結婚を決断する時、夫は故郷の西ノ島へUターンし、家業のホテルを継ぐことは決まっていました。何度か趣味の旅行で隠岐を訪れたこともあり、いつかこんな自然が素敵な場所で暮らしたいという漠然とした思いはありましたが、それでも想像ができなかった初めての土地での暮らしでした。仕事についても、接客業の経験がない自分に宿の経営などが務まるのだろうか…そんな心配もありました。期待と不安が入り交じった気持ちを島に嫁いできたことを覚えています。



散歩のあとは、近所のコーヒースタンドで休憩

意外と早くなじむことができました。

地域や人との距離が近い環境に住むのは初めてだったので、人付き合いに慣れることができるのか、夫も心配していました。実際に住んでみて、親戚や従業員の方、夫の友人が気にかけてくれ、親身に相談に乗ってくれたりし、意外と早くなじむことができました。子育てについても、忙しい時や体調を崩した時は親戚を頼り一時的に子どもを預かってもらえることがとても助かっています。従業員の方をはじめ、色々な方々の中で、子どもの成長を見守ってくれているように感じ、嬉しく思っています。

休日は家族で海に行ったり、山道を散策しています。春に見られる桜、初夏のホテルや秋の紅葉、雪の積もる山々など、季節ごとに変わる自然が身の周りにはたくさんあります。臨場感のある自然を近くで体感できるので、子育てするには良い環境だと感じています。ただ、雨の日には子どもが遊べる場所が限られているので、今後はそういう施設が増えたらいいなとも思っています。また、子どもの衣類やおもちゃに関しては、町の集落支援員さんが開催している「子ども用品のリユース」をよく利用しています。子育て世代との情報交換もできる場になっているのでとても助かっています。



家族でホテルの下の波止場を散歩

島の魅力をひとりでも多くの方に。

観光業に携わる一員として、実際に目で見える海の綺麗さや景色の壮大さ、伝統ある食文化や暮らしなど、西ノ島の魅力を一人でも多くの方に知ってもらえたらと思っています。海外の方にも島のことを知ってもらえるよう、SNSのタグ付けを工夫したり、本文を英語で発信することもあります。島の魅力を生かし、若い方も気軽に泊まりにきてくれるような、そんなホテルを目指しています。



ホテルのロビー

PEOPLE #4

妻との会話をきっかけに。

自然が好きな妻との会話をきっかけに、西ノ島へ移住することになりました。妻は、離島でアルバイトを経験するなど、自然に親しんでいました。妻の話を聞くうちに、私もだんだんと自然豊かな場所で子育てをしたい、という思いが強くなりました。ある日、都内で開催されていた移住フェアに出かけ、島根県の定住財団の職員さんに親切にいただいたことが印象に残り、島根県の情報を集めるようになりました。職探しについては、それまでは現場で働く電気工事士だったので、体を動かす仕事を中心に探しました。その後、西ノ島の定住体験モデルハウスに1週間滞在しながら漁師の現場を体験しました。固定の賃金があり、それほど船酔いもなく、自分に合っていると思い漁師への転職を決断しました。

テーマパークはないけれど…。

移住後は、まず地域に溶け込むことが必要と感じました。率先して子どもを連れ地域の行事やお祭りに参加したり、地域になじめるよう意識して動いていました。仕事も初めてのことで、最初の1年は大変だったのを覚えています。体力的にもきつかったです。よかったことは、夜が中心の仕事であるため、日中に子どもと過ごす時間がぐんと増えたことです。休日は、家族で近所を散歩したり、夏は海に出かけたり、テーマパークはないけれど、季節ごとに変わる自然を満喫できることが楽しいです。

移住に絶対必要なものは何か?と聞かれたら、それは絶対、「根性」です。移住した当初は、相談する人がまだいないかもしれないので、あまり思い詰めず、自分なりに発散方法や対処方法を見つけることをおすすめします。私の場合は子どもがいたからこそ早くじめたし、夫婦共々一度も島を出ようとは思いませんでした。移住は人生の中でも大きな決断になるので、移住前に生活環境や仕事について確認や体験することで不安も拭えますし、定住にもつながるのだと思います。



就業・暮らし体験時の思い出の写真

子どもの成長を見守ることが楽しみ。

今後の楽しみは、4人の子どもたちがどんな大人になっていくのか、成長を見届けることです。もう大きくなった長女は、東京での生活が気に入っていて、次女はいずれ保育士の資格をとり、町内の保育園で働きたいと言っています。各々個性があり、自分の生きる道を自分で選択できる環境であることに喜びを感じます。





PEOPLE #5

物が限られた環境での生活。

2年程前、JICAのボランティア派遣で東南アジアの東ティモールに滞在していましたが、コロナウイルスがまん延し、帰国を余儀なくされました。次の活動場所を探している時、JICA時代の友人から西ノ島のことを聞き、島前病院にコンタクトをとったことが移住のきっかけです。離島を選んだのは、東ティモールのように物の限られた環境での生活を送りたかったということがあります。色々な価値観に触れたい、知らない土地で冒険してみたいという思いもありました。

島民の“当たり前”。

近所の方や友人から食べきれないほどのお魚や野菜をもらうこともあります。周りの方から保存食として蓄えて、少しずつ食べる習慣があることを聞き、なるほどと思いました。物価は高いかもしれないけれど、島民の皆さんはずっとこの環境で普通に生活を送っています。皆さんが当たり前を送ってきた「島での暮らし」を体験できていることに幸せを感じます。



その土地の価値観を学びながら。

私の仕事は、相手の人生と向き合いながらケアをしていくことが多いので、関わりの中でその方が普段は出せない感情を見せてくれたり、「あなたで良かった」などの声を掛けてもらう時にやりがいを感じます。仕事の性質上、患者さんの感情を全て受け入れると精神的にきつくなるので、自然の中での気分転換、同僚と会話する時間などを大切にしています。言語聴覚士として働く大半の方は大きな病院に勤め、患者さんと治療の時だけ関わるのが一般的であるように思います。現在の環境では、離島という小さなコミュニティの中、一人一人の患者さんにじっくり向き合い治療を進めることができている。興味がある方は、短期でもよいので島前病院でお仕事をしてみることをおすすめします！

自然をたっぷり満喫したい。

休みの日は自然の中で体を動かします。1時間自転車に乗って国賀海岸に行き、ウォーキングをしたり、思い立ったらすぐに行ける距離間が気に入ってます。個人的には、今後、ダイビングのライセンスを取り隠岐の綺麗な海を堪能したり、色々な所に行ってみたり、経験したことがないことに挑戦してみたいと思っています。これからも冒険を楽しみます！



QUESTION

Q.自家用車、冬タイヤは必要？

徒歩圏内に商店が無い集落や、町内の路線バスも夜遅くまで運行していないため、自家用車は必須です。冬に雪が積もることがありますので、冬用タイヤは準備が必要です。

Q.自治会費などはあるの？

居住する地区（集落）で区費を集め、地区行事など区の運用に充てられます。金額は地区によって異なります。

Info. 宇賀/倉ノ谷/物井/別府/美田尻/大山
波止/市部/大津/小向/船越/浦郷
赤ノ江/珍崎/三度

Q.インターネットはできる？

光ファイバー網を整備し、超高速インターネットなどのサービスを提供しています。繁忙期など初期工事を行うまでに時間がかかることがあります。すぐに利用したい方はお早めに利用届を西ノ島町総務課までご提出ください。

Info. 西ノ島町役場観光総務課
TEL. 08514-6-0101

Q.通販サイトなどは利用できる？

一般的な大手サイトは大部分が利用可能です。ただし、大きさなどや配送業者によって送料が変わってくる可能性もあります。本土にて購入した物を隠岐汽船株式会社のサービスを利用し、島へ運送することも可能です。

Info. 隠岐汽船株式会社
TEL. 08512-2-1122

Q.不動産屋はある？

島内に不動産業者などいないため、町営住宅や空き家への居住となります。町が運営する住宅には、一部を除き、家具や家電（冷暖房器具）、照明などが設置されていませんので、自身での購入が必要です。

Q.島内で衣料品は買える？

島内で衣料品を購入できるところは少なく、通販サイトや本土で購入される方がほとんどです。子ども用品（衣類やおもちゃなど）に関しては、月に2回、美田コミュニティセンターにて集落支援員によるリユース事業を行っています。全品無料で品揃えも豊富です。

Q.島内のお店の営業時間は？

一部の店舗を除き、多くのお店の営業時間は19時には閉店します。スーパーマーケットも20時まで、コンビニエンスストアも火曜日が定休日で19時30分までです。

Q.クレジットカードは使える？

クレジットカード、電子マネーなど使用できる店舗も一部ありますが、すべての店舗で使用できるわけではありません。

移住に関するお問い合わせは
観光定住課までお願いします。

西ノ島町役場 観光定住課 定住係
〒684-0303 島根県隠岐郡西ノ島町美田 600-4
TEL 08514-6-1257 FAX 08514-6-0683
MAIL kanko-teiju@town.nishinoshima.shimane.jp

